

# Pulse Sampling Oscillation Unit

## 取扱説明書



Nippon Computer System  
株式会社 ニコス

図番 | NCS177999-M010

**改版履歴**

初版      2018/01/11      初版作成

## □□□ 目次 □□□

1. 機能概要.....	5
2. 構成図.....	6
3. 機能詳細.....	7
3.1. サンプリング発振モード.....	7
3.1.1. 制御内容.....	7
3.1.2. 接続例.....	7
3.1.3. 関連設定項目.....	7
3.1.4. 動作例.....	8
3.2. 2点間計測モード.....	10
3.2.1. 制御内容.....	10
3.2.2. 接続例.....	10
3.2.3. 関連設定項目.....	10
3.2.4. 動作例.....	11
3.3. 固定発振モード.....	13
3.3.1. 制御内容.....	13
3.3.2. 接続例.....	13
3.3.3. 関連設定項目.....	13
3.3.4. 動作例.....	14
4. 設定項目.....	15
4.1. 設定項目一覧.....	15
4.2. パラメータ設定項目詳細.....	16
4.2.1. モード.....	16
4.2.2. サンプリング発振モード用 発振条件.....	16
4.2.3. サンプリング発振モード用 自動停止時間.....	16

---

4.2.4.	2点間計測モード用 2点間距離.....	16
4.2.5.	2点間計測モード用 パルスレート.....	16
4.2.6.	2点間計測モード用 自動停止距離.....	17
4.2.7.	固定発振モード用 停止条件.....	17
4.2.8.	固定発振モード用 発振周波数.....	17
4.2.9.	各モード共通 停止条件.....	17
4.3.	インターフェース設定項目詳細.....	18
4.3.1.	IP アドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ.....	18
<b>5.</b>	<b>メンテナンス機能.....</b>	<b>19</b>
5.1.	WEB機能.....	19
5.1.1.	モニタ画面.....	20
5.1.2.	設定画面.....	21
5.2.	タッチパネル機能(オプション).....	22
5.2.1.	モニタ画面.....	23
5.2.2.	設定画面1.....	24
5.2.3.	設定画面2.....	25
5.2.4.	Loginウィンドウ.....	26
5.2.5.	オフラインモードでの操作.....	27
5.3.	本体ネットワーク設定の初期化.....	33
<b>6.</b>	<b>付録.....</b>	<b>34</b>
6.1.	諸元.....	34
6.2.	外形図.....	36
6.3.	設定表.....	38

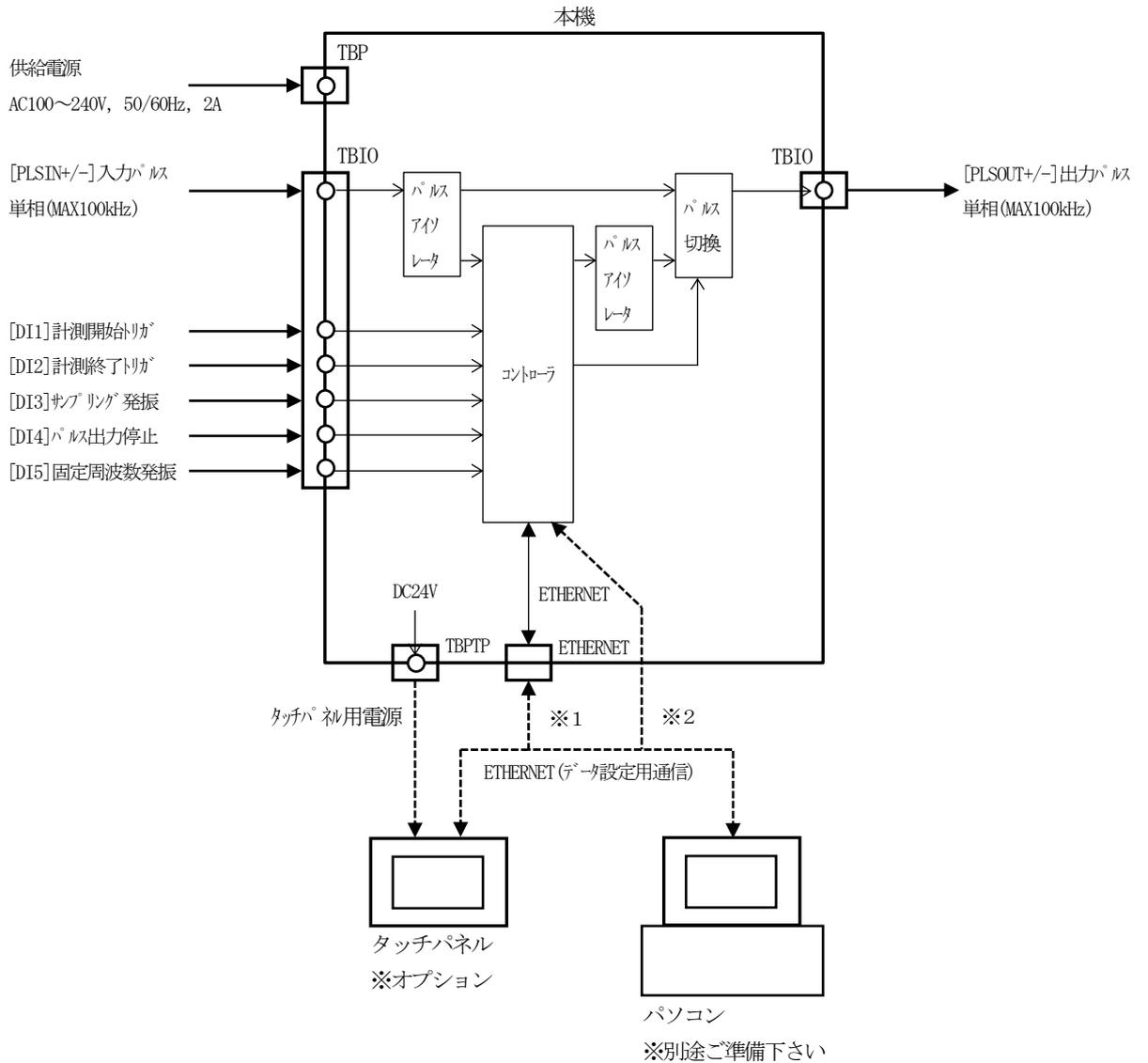
## 1. 機能概要

『Pulse Sampling Oscillation Unit』（以降、本機）は、指定のモードにより周波数を決定し発振を行います。発振可能範囲は100kHzまでです。

指定出来るモードは、下記の3通りあります。モードの指定及び各パラメータの設定は、WEB画面またはタッチパネル（オプション）より行うことが出来ます。

モード	概要
サンプリング発振モード	外部から入力された周波数を使用します。 エンコーダからの発振を、擬似的に保持させることが出来ます。
2点間計測モード	2点間の通過時間より周波数を決定します。 エンコーダが無い場合に、2点のセンサ入力にてエンコーダの代用を行うことが出来ます。
固定発振モード	設定した周波数を使用します。 固定の周波数を発振し、機器の動作確認などを行うことが出来ます。前述のモードの補助として用意しています。

## 2. 構成図



※1) ケース実装時は「ETHERNET」コネクタへ接続します。

※2) DINレール取付(ケース無)時は「ETHERNET」コネクタは実装されません。コントローラへ直接接続します。

### 3. 機能詳細

#### 3.1. サンプルング発振モード

##### 3.1.1. 制御内容

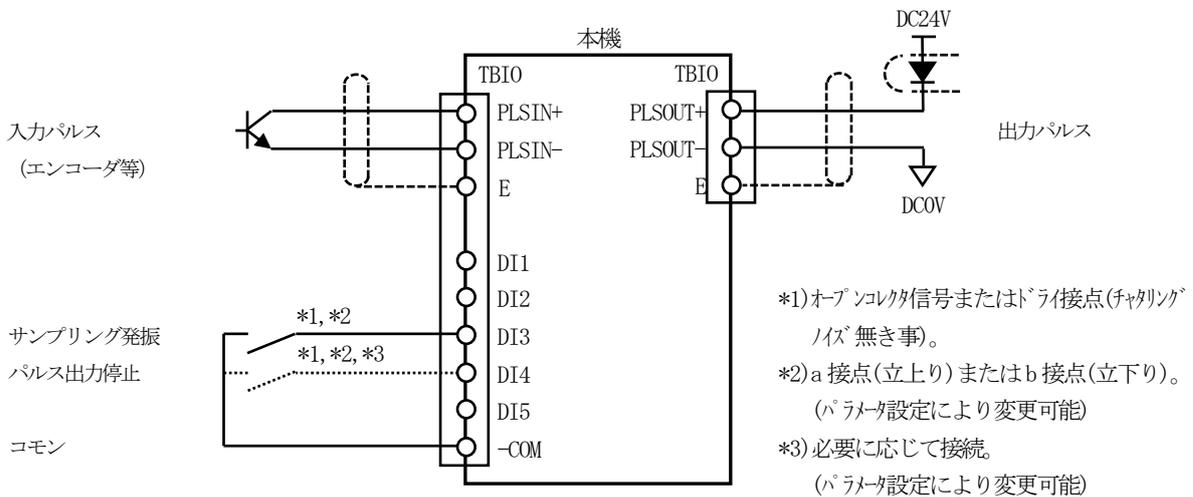
『[PLSIN+/-]入力パルス』から入力されたパルス列の周波数を計測し、『[DI3]サンプルング発振』信号の入力時点の周波数にて内部発振を行い出力します。

内部発振の停止は、自動停止時間又は『[DI4]パルス出力停止』信号の入力により行います。

内部発振の停止時は、『[PLSIN+/-]入力パルス』から入力されたパルス列がそのまま出力されます。

内部発振中に『[DI3]サンプルング発振』信号の入力が有った場合、その時点での計測周波数に切替えて内部発振を行います。

##### 3.1.2. 接続例



##### 3.1.3. 関連設定項目

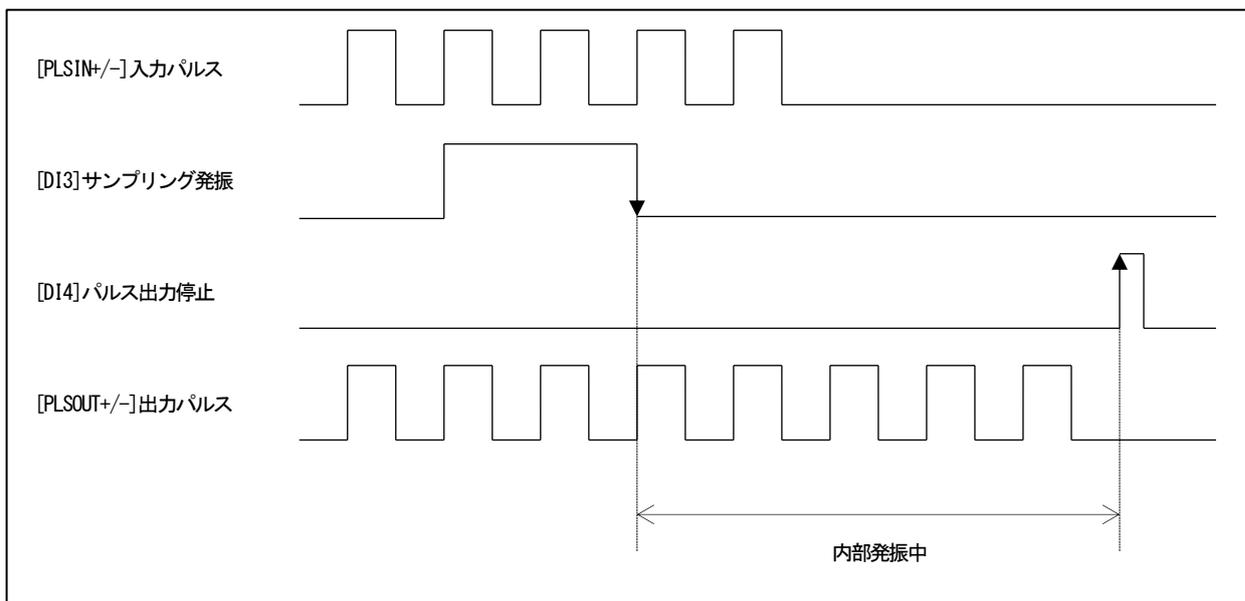
項目	設定値	備考
モード	サンプルング発振	(「4.2.1. モード」参照)
<b>サンプルング発振モード用</b>		
発振条件	[DI3] サンプルング発振 立上り [DI3] サンプルング発振 立下り	(「4.2.2. サンプルング発振モード用 発振条件」参照)
自動停止時間	0~9,999[s]	0 設定時自動停止無効 (「4.2.3. サンプルング発振モード用 自動停止時間」参照)
<b>各モード共通</b>		
停止条件	[DI4] パルス出力停止 立上り [DI4] パルス出力停止 立下り	(「4.2.9. 各モード共通 停止条件」参照)

## 3.1.4. 動作例

## ■ケース1：サンプリング発振モードの基本動作

パラメータ設定は下記の通り。

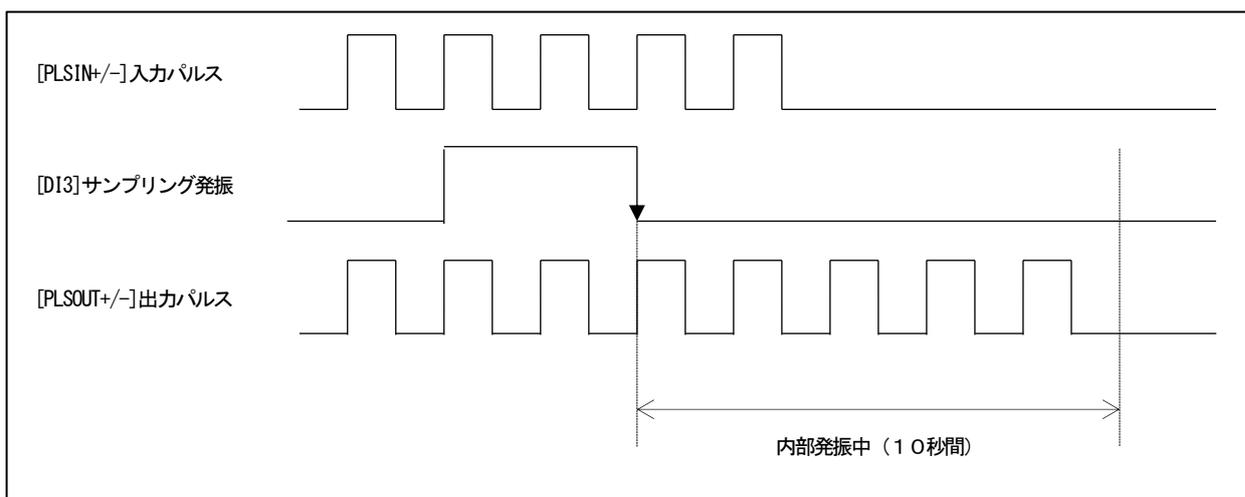
- モード 『サンプリング発振』
- サンプリング発振モード用 発振条件 『[DI3]サンプリング発振 立下り』
- サンプリング発振モード用 自動停止時間 『0[s]』
- 各モード共通 停止条件 『[DI4]パルス出力停止 立上り』



## ■ケース2：内部発振の時間による自動停止

パラメータ設定は下記の通り。

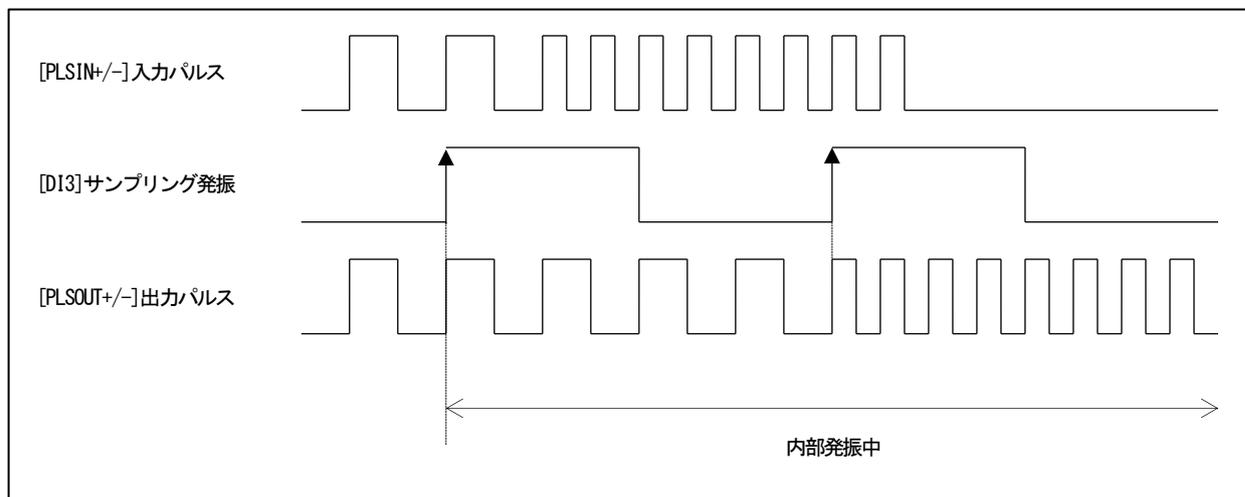
- モード 『サンプリング発振』
- サンプリング発振モード用 発振条件 『[DI3]サンプリング発振 立下り』
- サンプリング発振モード用 自動停止時間 『10[s]』



## ■ケース3：内部発振中のサンプリング発振要求

パラメータ設定は下記の通り。

- モード 『サンプリング発振』
- サンプリング発振モード用 発振条件 『[DI3]サンプリング発振 立上り』
- サンプリング発振モード用 自動停止時間 『0[s]』



### 3.2. 2点間計測モード

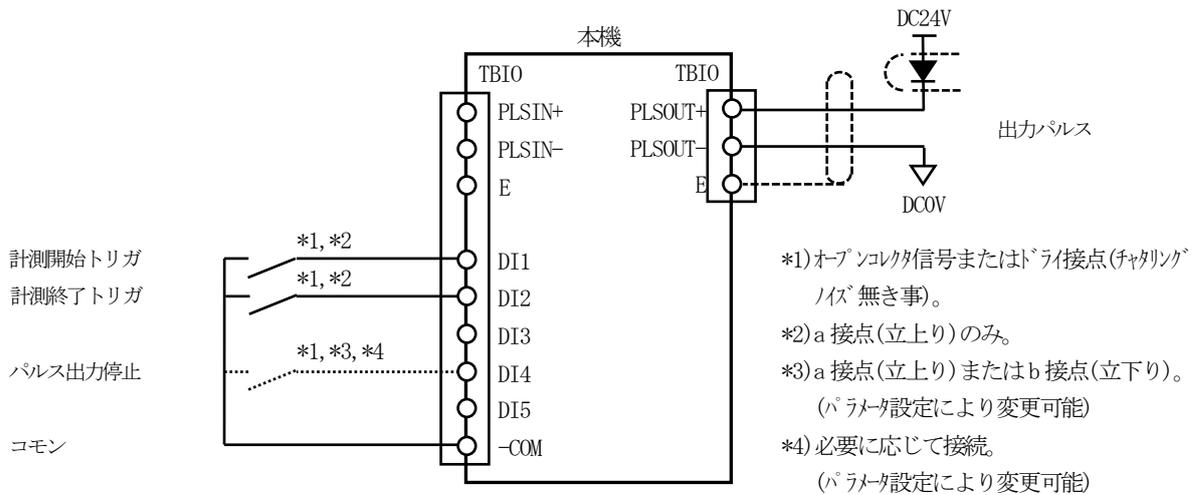
#### 3.2.1. 制御内容

『[DI1]計測開始トリガ』信号の立上りから『[DI2]計測終了トリガ』信号の立上りまでの時間を計測し、周波数を算出します。その後即時に内部発振を開始します。

予めパラメータ設定にて、2点間距離とパルスレートの設定が必要です。

内部発振の停止は、自動停止距離又は『[DI4]パルス出力停止』信号の入力により行います。

#### 3.2.2. 接続例



#### 3.2.3. 関連設定項目

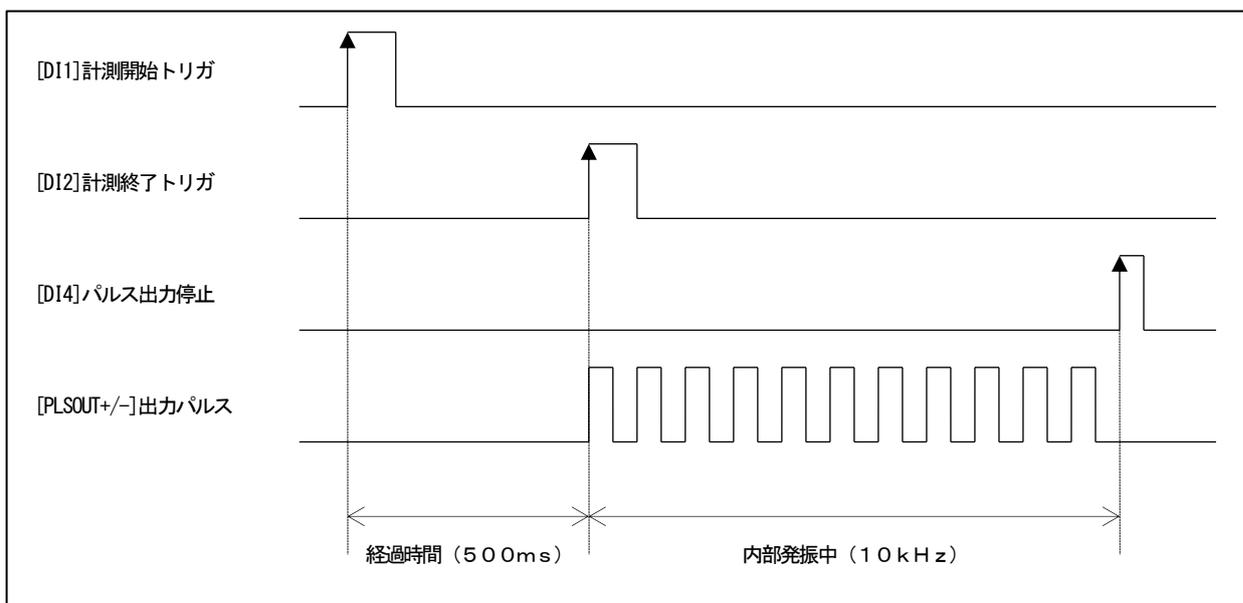
項目	設定値	備考
モード	2点間計測	(「4.2.1. モード」参照)
<b>2点間計測モード用</b>		
2点間距離	1~9,999 [mm]	(「4.2.4. 2点間計測モード用 2点間距離」参照)
パルスレート	0.00000001~999.99999999 [mm/pulse]	(「4.2.5. 2点間計測モード用 パルスレート」参照)
自動停止距離	0~99,999 [mm]	0 設定時自動停止無効 (「4.2.6. 2点間計測モード用 自動停止距離」参照)
<b>各モード共通</b>		
停止条件	[DI4]パルス出力停止 立上り [DI4]パルス出力停止 立下り	(「4.2.9. 各モード共通 停止条件」参照)

## 3.2.4. 動作例

## ■ケース1：2点間計測モードの基本動作

パラメータ設定は下記の通り。

- モード 『2点間計測』
- 2点間計測モード用 2点間距離 『500[mm]』
- 2点間計測モード用 パルスレート 『0.1[mm/pulse]』
- 2点間計測モード用 自動停止距離 『0[mm]』
- 各モード共通 停止条件 『[DI4]パルス出力停止 立上り』



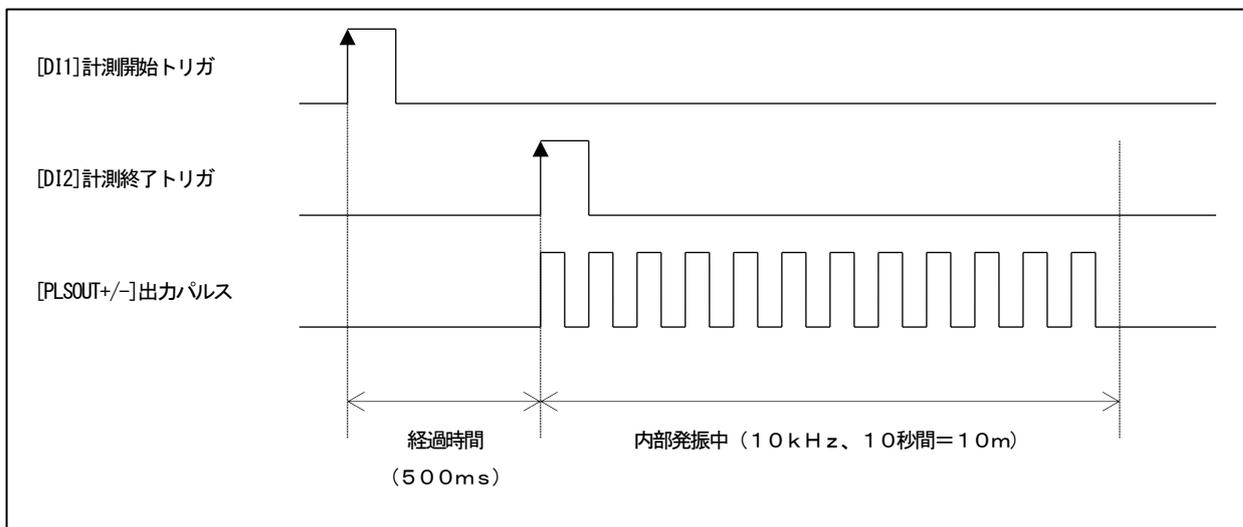
※[DI1]計測開始トリガの入力が無い状態で、[DI2]計測終了トリガが入力された場合、無視されます。

※[DI1]計測開始トリガが複数回検出された場合、最後の検出からの計測となります。

■ケース 2：内部発振の距離による自動停止

パラメータ設定は下記の通り。

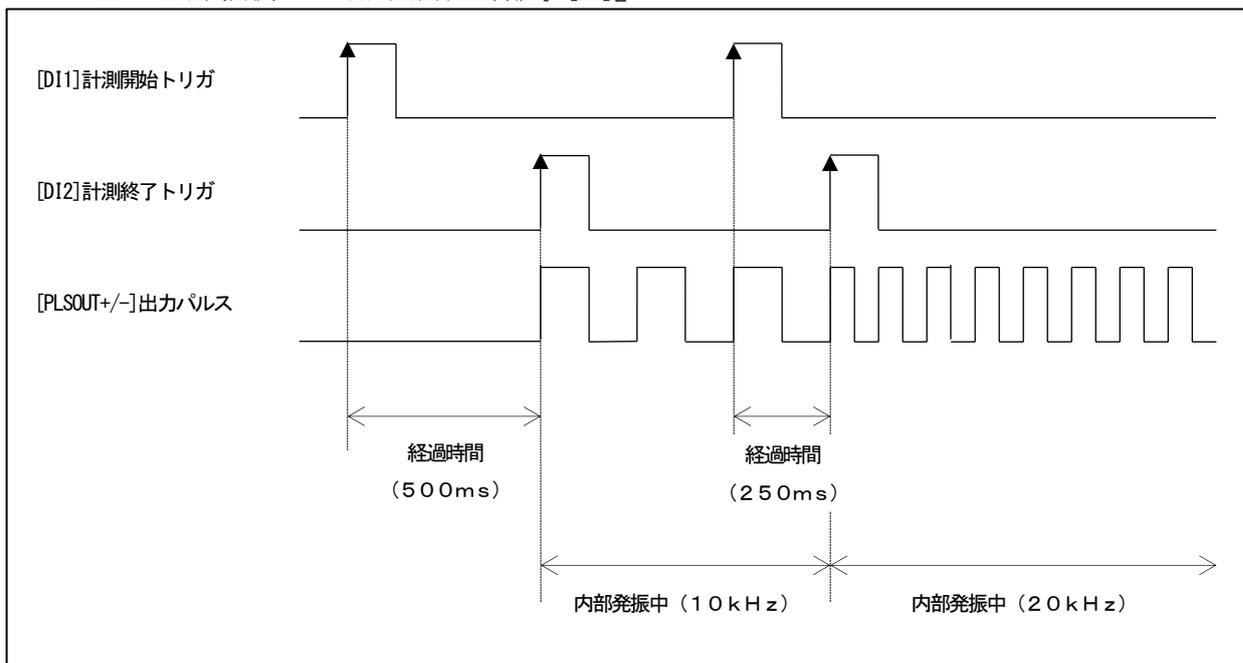
- モード 『2点間計測』
- 2点間計測モード用 2点間距離 『500[mm]』
- 2点間計測モード用 パルスレート 『0.1[mm/pulse]』
- 2点間計測モード用 自動停止距離 『10,000[mm]』



■ケース 3：内部発振中の2点間通過検出

パラメータ設定は下記の通り。

- モード 『2点間計測』
- 2点間計測モード用 2点間距離 『500[mm]』
- 2点間計測モード用 パルスレート 『0.1[mm/pulse]』
- 2点間計測モード用 自動停止距離 『0[mm]』



### 3.3. 固定発振モード

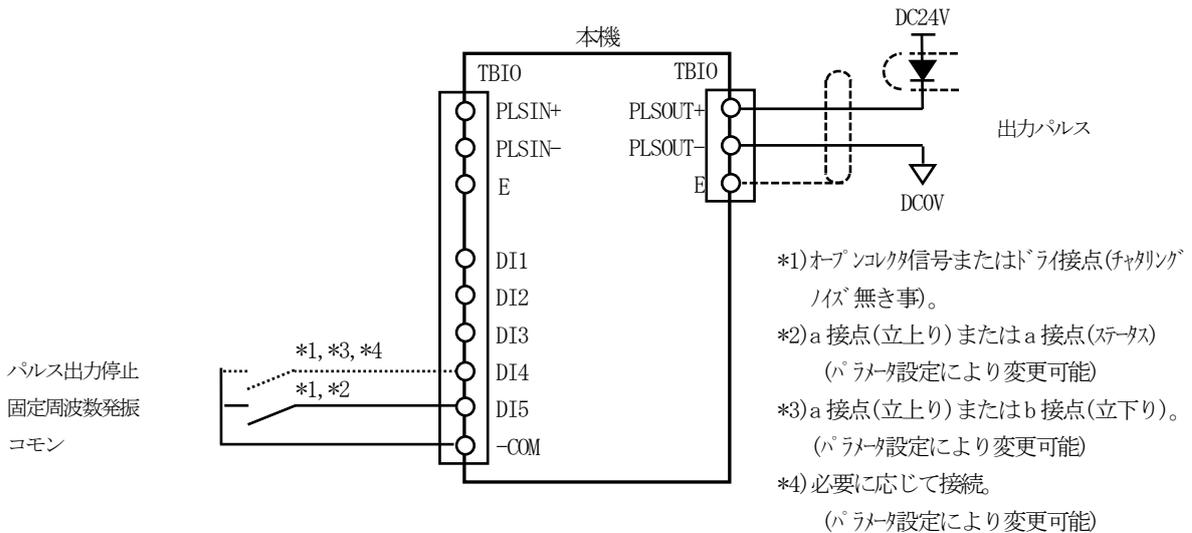
#### 3.3.1. 制御内容

『[DI5]固定周波数発振』信号の立上りにより設定した周波数にて発振を行います。

予めパラメータ設定にて、発振周波数の設定が必要です。

内部発振の停止は、『[DI5]固定周波数発振』信号の立下り又は『[DI4]パルス出力停止』信号の入力により行います。

#### 3.3.2. 接続例



#### 3.3.3. 関連設定項目

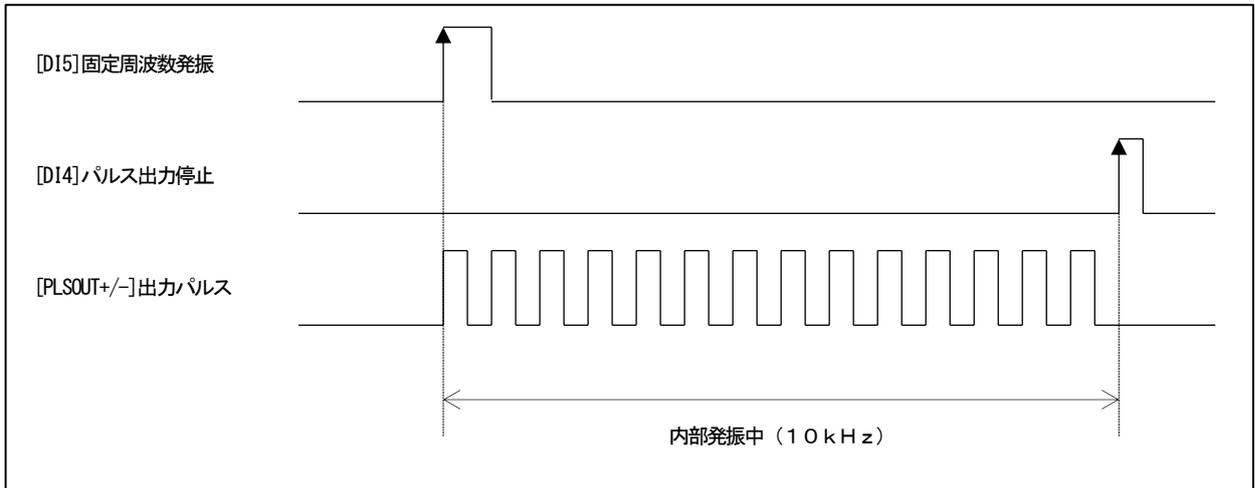
項目	設定値	備考
モード	固定発振	(「4.2.1. モード」参照)
<b>固定発振モード用</b>		
停止条件	無効 [DI5]固定周波数発振 立下り	(「4.2.7. 固定発振モード用 停止条件」参照)
発振周波数	1~100,000 [Hz]	(「4.2.8. 固定発振モード用 発振周波数」参照)
<b>各モード共通</b>		
停止条件	[DI4]パルス出力停止 立上り [DI4]パルス出力停止 立下り	(「4.2.9. 各モード共通 停止条件」参照)

## 3.3.4. 動作例

## ■ケース1：固定発振モードの基本動作

パラメータ設定は下記の通り。

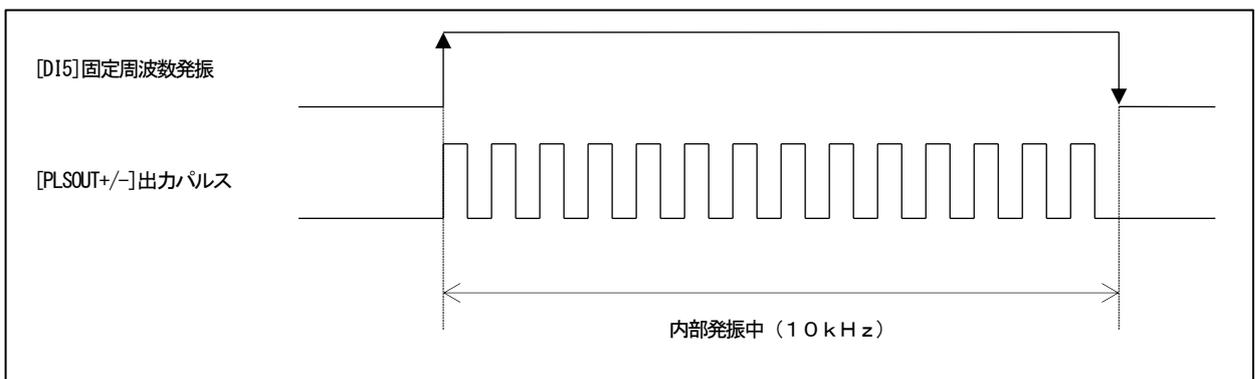
- モード 『固定発振』
- 固定発振モード用 停止条件 『無効』
- 固定発振モード用 発振周波数 『10,000[Hz]』
- 各モード共通 停止条件 『[DI4]パルス出力停止 立上り』



## ■ケース2：『[DI5]固定周波数発振』信号一点での動作

パラメータ設定は下記の通り。

- モード 『固定発振』
- 固定発振モード用 停止条件 『[DI5]固定周波数発振 立下り』
- 固定発振モード用 発振周波数 『10,000[Hz]』



## 4. 設定項目

### 4.1. 設定項目一覧

#### ■ パラメータ設定

項目	設定値	備考
モード	サンプリング発振 (出荷時) 2点間計測 固定発振	
<b>サンプリング発振モード用</b>		
発振条件	[DI3]サンプリング発振 立上り [DI3]サンプリング発振 立下り (出荷時)	
自動停止時間	0～9,999[s] (出荷時0[s])	0 設定時自動停止無効
<b>2点間計測モード用</b>		
2点間距離	1～9,999[mm] (出荷時500[mm])	
パルスレート	0.0000001～999.9999999[mm/pulse] (出荷時0.1[mm/pulse])	
自動停止距離	0～99,999[mm] (出荷時0[mm])	0 設定時自動停止無効
<b>固定発振モード用</b>		
停止条件	無効 (出荷時) [DI5]固定周波数発振 立下り	
発振周波数	1～100,000[Hz] (出荷時10,000[Hz])	
<b>各モード共通</b>		
停止条件	[DI4]パルス出力停止 立上り (出荷時) [DI4]パルス出力停止 立下り	

#### ■ インターフェース設定 (※WEB機能からのみ設定可)

項目	設定値	備考
IP アドレス	192.168.2.128 (出荷時)	IPv4
サブネットマスク	255.255.255.0 (出荷時)	
ゲートウェイ	0.0.0.0 (出荷時)	

## 4.2. パラメータ設定項目詳細

### 4.2.1. モード

本機の動作内容を設定します。

設定値	内容
サンプリング発振モード	「サンプリング発振モード」を実行します。
2点間計測モード	「2点間計測モード」を実行します。
固定発振モード	「固定発振モード」を実行します。

### 4.2.2. サンプリング発振モード用 発振条件

サンプリング発振モード時に、内部発振を開始する条件を設定します。

設定値	内容
[DI3]サンプリング発振 立上り	『[DI3]サンプリング発振』信号の立上りにて、内部発振を開始します。
[DI3]サンプリング発振 立下り	『[DI3]サンプリング発振』信号の立下りにて、内部発振を開始します。

### 4.2.3. サンプリング発振モード用 自動停止時間

サンプリング発振モード時に、内部発振を自動で停止する時間を設定します。

設定値	内容
0[s]	自動停止を使用しません。
1～9,999[s]	内部発振開始後に指定時間経過にて内部発振を停止します。

### 4.2.4. 2点間計測モード用 2点間距離

2点間計測モード時に、2点間の通過時間から周波数を算出する際に使用します。

設定値	内容
1～9999[mm]	『[DI1]計測開始トリガ』と『[DI2]計測終了トリガ』に接続するセンサ間の距離を設定します。

### 4.2.5. 2点間計測モード用 パルスレート

2点間計測モード時に、2点間の通過時間から周波数を算出する際に使用します。

設定値	内容
0.0000001～999.99999999 [mm/pulse]	『[PLSOUT+/-]出力パルス』に接続する機器の仕様により決定して下さい。

#### 4.2.6. 2点間計測モード用 自動停止距離

2点間計測モード時に、内部発振を自動で停止する距離を設定します。

設定値	内容
0[mm]	自動停止を使用しません。
1~99,999[mm]	内部発振開始後に指定距離を通過後に内部発振を停止します。距離は2点間を通過した時間より推定されます。

#### 4.2.7. 固定発振モード用 停止条件

固定発振モード時に、『[DI3]固定周波数発振』信号による停止処理を使用するか設定します。

設定値	内容
無効	『[DI3]固定周波数発振』信号による停止処理を使用しません。『[DI4]パルス出力停止』信号でのみ停止が可能です。
[DI5]固定周波数発振 立下り	『[DI3]固定周波数発振』信号の立下りにて、内部発振を停止します。

#### 4.2.8. 固定発振モード用 発振周波数

固定発振モード時に、内部発振する周波数を設定します。

設定値	内容
1~100,000[Hz]	内部発振時に、設定した周波数を出力します。

#### 4.2.9. 各モード共通 停止条件

『[DI4]パルス出力停止』信号はモードに依らず常に有効です。

設定値	内容
[DI4]パルス出力停止 立上り	『[DI4]パルス出力停止』信号の立上りにて内部発振を停止します。
[DI4]パルス出力停止 立下り	『[DI4]パルス出力停止』信号の立下りにて内部発振を停止します。

### 4.3. インターフェース設定項目詳細

本体インターフェースの設定を変更します。本項目はWEB機能からのみ変更出来ます。

#### 4.3.1. IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイ

本機のETHERNETポートの設定を行います。変更後は自動的に再起動し設定が反映されます。タッチパネル（オプション）を使用している場合は、別途タッチパネル側のインターフェース設定も変更する必要があります。

設定値	内容
IPアドレス	本機のETHERNETポートの設定を行います。
サブネットマスク	
ゲートウェイ	

## 5. メンテナンス機能

### 5.1. WEB機能

本機の動作状況のモニタ及びメンテナンスをWEB画面より行う事が出来ます。メンテナンスに使用するパソコンは、別途ご準備下さい。下記手順により接続下さい。

1. パソコンの通信設定を変更します。(下記設定例は本機が出荷時状態であることを想定しています。インターフェース設定を変更された場合は、変更内容に合わせた値をご使用下さい。)

#### 【Microsoft Windows 7 / 8.1】の場合

- ① [コントロールパネル]>[ネットワークの状態とタスクの表示]>[アダプターの設定の変更]の順で選択し、「ネットワーク接続」を表示します。
- ② 「ネットワーク接続」より使用する接続 (ex. ローカル エリア接続) を右クリックし[プロパティ]を選択します。
- ③ 表示されたプロパティより、[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し[プロパティ]をクリックします。
- ④ [次の IP アドレスを使う]をチェックし、[IP アドレス]に「192.168.2.10」、[サブネット マスク]に「255.255.255.0」を入力し[OK]をクリックします。

#### 【Microsoft Windows 10】の場合

- ① [設定]>[ネットワークとインターネット]>[イーサネット]>[アダプターのオプションを変更する]の順で選択し、「ネットワーク接続」を表示します。
- ② 「ネットワーク接続」より使用する接続 (ex. ローカル エリア接続) を右クリックし[プロパティ]を選択します。
- ③ 表示されたプロパティより、[インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)]を選択し[プロパティ]をクリックします。
- ④ [次の IP アドレスを使う]をチェックし、[IP アドレス]に「192.168.2.10」、[サブネット マスク]に「255.255.255.0」を入力し[OK]をクリックします。



2. 正面の ETHERNET ポートに LAN ケーブルでパソコンを接続します。
3. ブラウザにて URL へ「<http://192.168.2.128>」(出荷時設定) と入力し決定します。以上で、『モニタ画面』(「5.1.1 モニタ画面 参照」)が表示されます。

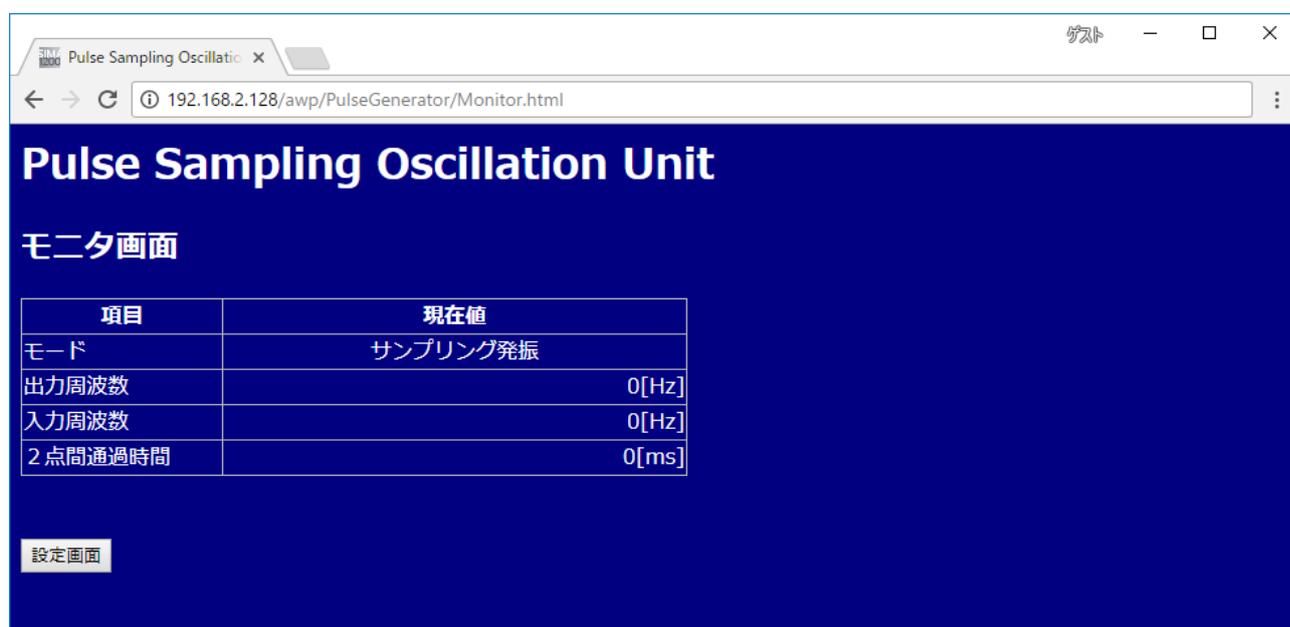
WEB画面には下記があります。

画面名称	概要
モニタ画面	現在のモードと動作状況を確認出来ます。
設定画面	各種設定を変更することが出来ます。

### 5.1.1. モニタ画面

現在のモードと動作状況を確認出来ます。本画面の値は3秒毎に自動更新します。

下部の[設定画面]ボタンをクリックすることで『設定画面』（5.1.2. 設定画面）参照）を表示します。



表示項目は下記の通りです。

設定値	内容
モード	現在実行中のモードを表示します。
出力周波数	内部発振中の周波数を表示します。0[Hz]の場合『[PLSOUT+/-]出力パルス』へは、『[PLSIN+/-]入力パルス』の内容が出力されています。
入力周波数	『[PLSIN+/-]入力パルス』への入力周波数の現在値を表示します。モード、内部発振中の如何にかかわらず、入力があれば表示されます。
2点間通過時間	2点間計測モード時の最後の通過時間が表示されます。

## 5.1.2. 設定画面

本機の各種設定を変更することが出来ます。設定項目の内容については「4.1. 設定項目一覧」及び「4.2. パラメータ設定項目詳細」を参照下さい。

各項目の設定値を変更後[変更]ボタンをクリックすると即時に設定値が反映されます。

下部の[モニタ画面]ボタンをクリックすることで『モニタ画面』（「5.1.1. モニタ画面」参照）を表示します。

**設定画面**

**パラメータ設定**

項目	現在値	設定値	備考
モード	サンプリング発振	サンプリング発振 ▼	変更
<b>サンプリング発振モード用</b>			
発振条件	[DI3]サンプリング発振 立下り	[DI3]サンプリング発振 立下り ▼	変更
自動停止時間	0[s]	0 [s]	変更 0~9999[s](0時無効)
<b>2点間計測モード用</b>			
2点間距離	500[mm]	500 [mm]	変更 1~9999[mm]
パルスレート	0.10000000[mm/pulse]	0.10000000 [mm/pulse]	変更 0.00000001~999.99999999[mm/pulse]
自動停止距離	0[mm]	0 [mm]	変更 0~99999[mm](0時無効)
<b>固定発振モード用</b>			
停止条件	無効	無効 ▼	変更
発振周波数	10000[Hz]	10000 [Hz]	変更 1~100000[Hz]
<b>各モード共通</b>			
停止条件	[DI4]パルス出力停止 立上り	[DI4]パルス出力停止 立上り ▼	変更

**インターフェース設定**

項目	現在値	設定値
IPアドレス	192.168.2.128	192 . 168 . 2 . 128
サブネットマスク	255.255.255.0	255 . 255 . 255 . 0
ゲートウェイ	0.0.0.0	0 . 0 . 0 . 0
設定		変更

モニタ画面

## 5.2. タッチパネル機能（オプション）

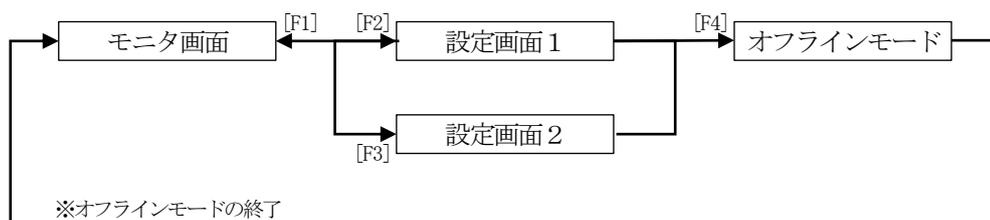
タッチパネルをオプションで付けることができます。タッチパネルは本機正面の ETHERNET ポートを使用して接続します。

出荷時の通信設定は、（タッチパネル側）IP アドレス「192.168.2.129」、接続先（本機本体側）IP アドレスは「192.168.2.128」になっています。

タッチパネルの画面には下記があります。

画面名称	概要
モニタ画面	現在のモードと動作状況を確認出来ます。
設定画面 1	「サンプリング発振モード」「2点間計測モード」用の設定を変更することが出来ます。
設定画面 2	「固定発振モード」用及び「各モード共通」の設定を変更することが出来ます。
オフラインモード	タッチパネル自身のシステム設定を変更することが出来ます。主にタッチパネルの通信設定を変更する際に使用します。 本画面へ移行する為には、Login が必要です。

各画面の遷移は下記の通りです。



※[F1]～[F4]は、タッチパネル下部（画面外）の物理スイッチです。

※「オフラインモード」への移行は、Login（権限の獲得）が必要です。

### 5.2.1. モニタ画面

現在のモードと動作状況を確認出来ます。

下部の[F2]ボタンを押すことで『設定画面1』（5.2.2. 設定画面1）参照）、[F3]ボタンを押すことで『設定画面2』（5.2.3. 設定画面2）参照）を表示します。



表示項目は下記の通りです。

設定値	内容
モード	現在実行中のモードを表示します。
出力周波数	内部発振中の周波数を表示します。0[Hz]の場合『[PLSOUT+/-]出力パルス』へは、『[PLSIN+/-]入力パルス』の内容が出力されています。
入力周波数	『[PLSIN+/-]入力パルス』への入力周波数の現在値を表示します。モード、内部発振中の如何にかかわらず、入力があれば表示されます。
2点間通過時間	2点間計測モード時の最後の通過時間が表示されます。

## 5.2.2. 設定画面 1

本機の各種設定を変更することが出来ます。設定項目の内容については「4.1. 設定項目一覧」及び「4.2. パラメータ設定項目詳細」を参照下さい。

各項目の設定値を変更後、即時に設定値が反映されます。

下部の[F1]ボタンを押すことで『モニタ画面』（5.2.1. モニタ画面 参照）を、[F3]ボタンを押すことで『設定画面 2』（5.2.3. 設定画面 2 参照）を表示します。

また、[F4]ボタンを押すことでタッチパネルをオフラインモードへ移行します。オフラインモード（5.2.5. オフラインモードでの操作 参照）へ移行する際に権限の確認の為に『Loginウィンドウ』（5.2.4. Loginウィンドウ 参照）が表示されます。権限獲得後、再度[F4]を押すとオフラインモードへ移行します。



※「モード」は、『設定画面 1』『設定画面 2』に同じものが表示されています。

### 5.2.3. 設定画面2

本機の各種設定を変更することが出来ます。設定項目の内容については「4.1. 設定項目一覧」及び「4.2. パラメータ設定項目詳細」を参照下さい。

各項目の設定値を変更後、即時に設定値が反映されます。

下部の[F1]ボタンを押すことで『モニタ画面』（5.2.1. モニタ画面 参照）を、[F2]ボタンを押すことで『設定画面1』（5.2.2. 設定画面1 参照）を表示します。

また、[F4]ボタンを押すことでタッチパネルをオフラインモードへ移行します。オフラインモード（5.2.5. オフラインモードでの操作 参照）へ移行する際に権限の確認の為に『Loginウィンドウ』（5.2.4. Loginウィンドウ 参照）が表示されます。権限獲得後、再度[F4]を押すとオフラインモードへ移行します。



※「モード」は、『設定画面1』『設定画面2』に同じものが表示されています。

### 5.2.4. Loginウィンドウ

一部機能の実行時に権限の確認が行われます。『Loginウィンドウ』が表示された際には、所定のユーザIDとパスワードを入力し権限を獲得して下さい。権限獲得後、再度機能を選択すると実行できます。権限を必要とする操作の実施は、保証の範囲外となります。十分注意して実施下さい。



Loginに必要なユーザー情報は下記の通りです。

設定値	内容
User	Administrator
Password	pass

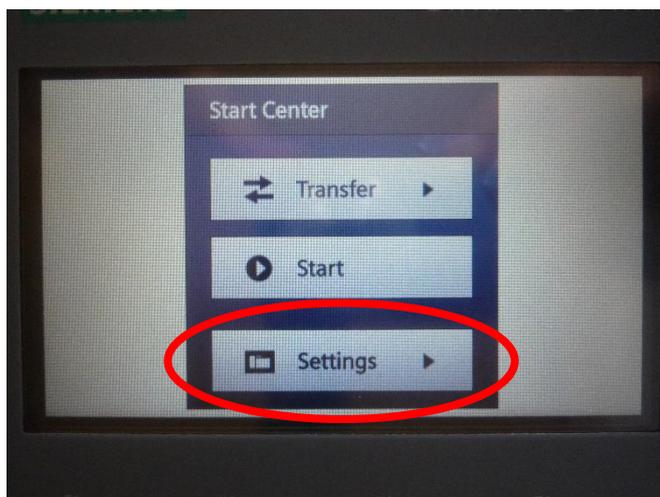
### 5.2.5. オフラインモードでの操作

タッチパネルのオフラインモードでは、タッチパネル自身のシステム設定を変更することが出来ます。オフラインモードでの操作は、保証の範囲外となりますのでご注意ください。

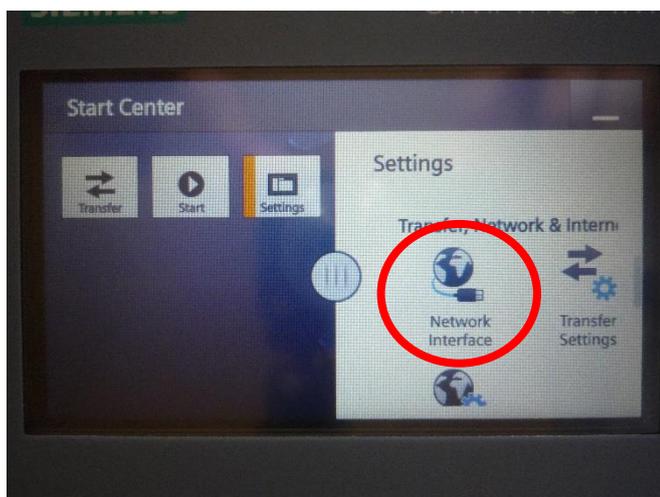
本章では、タッチパネルの IP アドレス及び、接続先 IP アドレスの変更について記載します。

#### 【IP アドレスの変更方法】

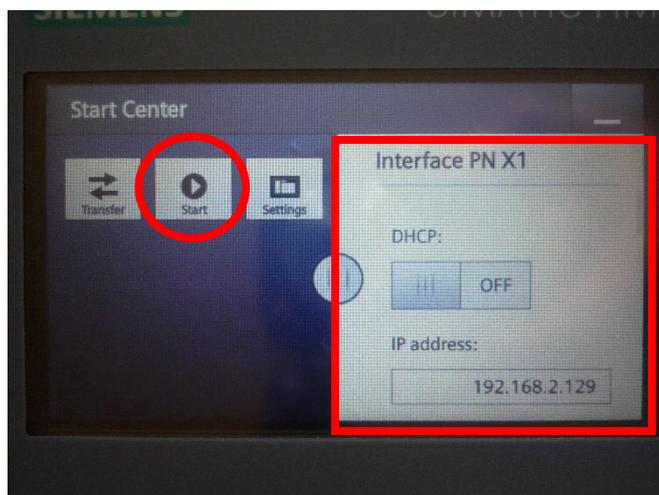
- ① オフラインモードへ移行します（「5.2.2. 設定画面 1」「5.2.3. 設定画面 2」参照）。システムのシャットダウン後『Start Center』画面が表示されます。
- ② 『Start Center』画面から、[Settings]をタッチします。



- ③ 『Settings』のメニューより[Network Interface]をタッチします。（画面右に表示されるメニューを下にスクロールすると表示されます。）

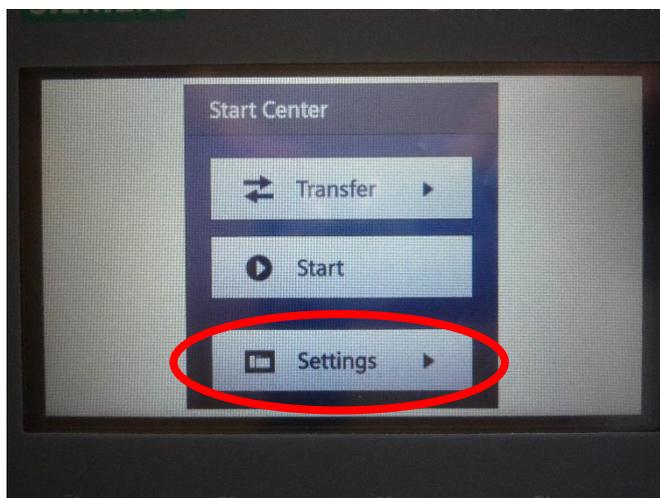


- ④ 『Interface PN X1』 の設定画面が表示されますので、タッチパネルのネットワーク設定を行います。設定後、画面左に表示される[Start]をタッチすることで、オンラインへ戻ります。

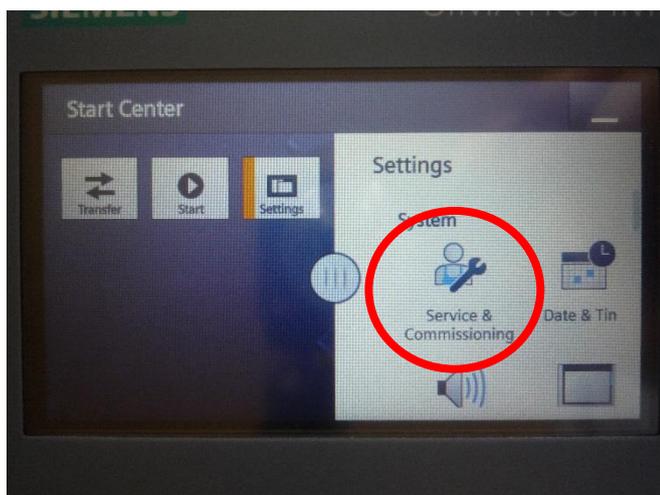


**【接続先 IP アドレスの変更方法】**

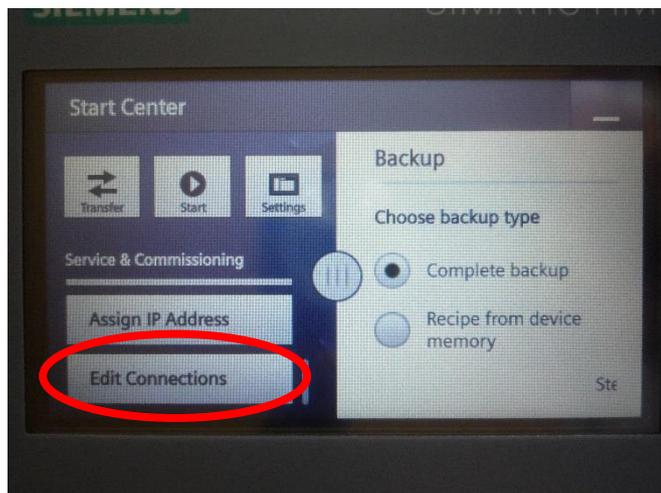
- ① オフラインモードへ移行します（「5.2.2. 設定画面 1」「5.2.3. 設定画面 2」参照）。システムのシャットダウン後『Start Center』画面が表示されます。
- ② 『Start Center』画面から、[Settings]をタッチします。



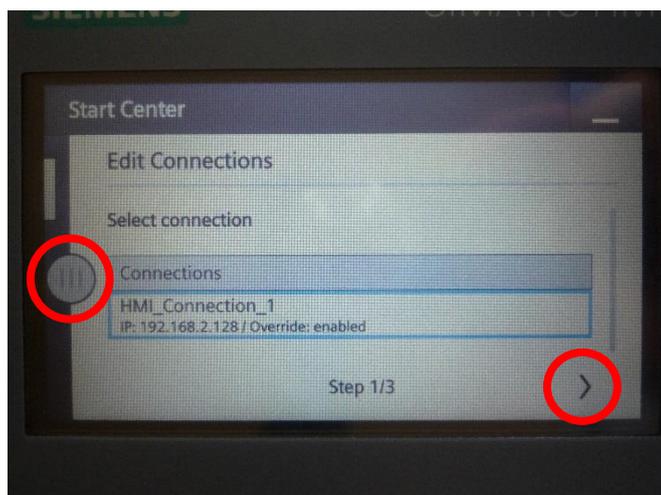
- ③ 『Settings』のメニューより[Service & Commissioning]をタッチします。



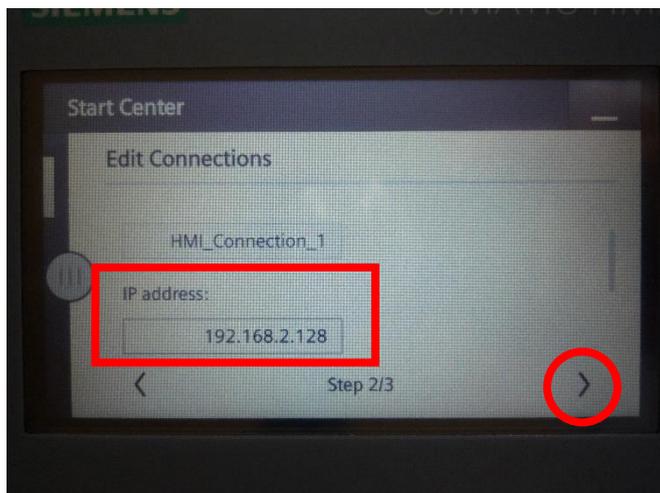
- ④ 『Service & Commissioning』のメニューより[Edit Connections]をタッチします。(画面左に表示されるメニューを下にスクロールすると表示されます。)



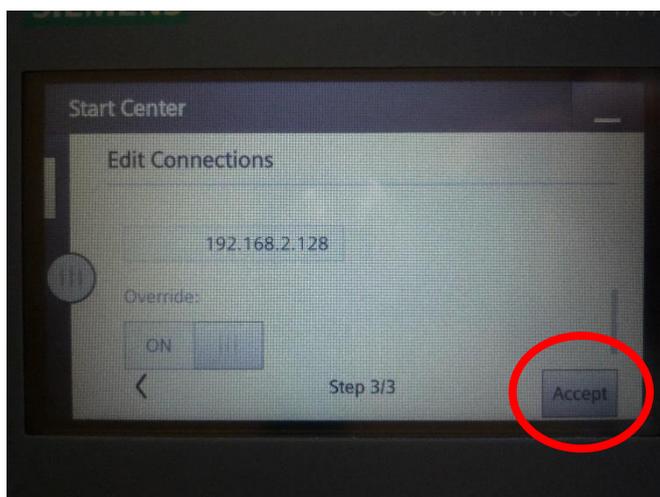
- ⑤ 『Edit Connections』(Step 1/3)画面の中央にある  記号をタッチし設定画面を最大化します。右下に表示された[>]をタッチします。



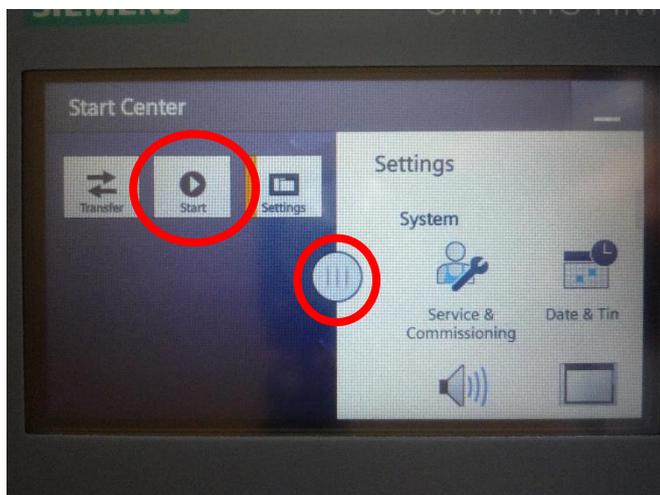
- ⑥ 『Edit Connections』 (Step 2/3)画面の[IP address]に接続先の IP アドレスを入力します。(下にスクロールすると表示されます。) 入力後、右下に表示された[>]をタッチします。



- ⑦ 『Edit Connections』 (Step 3/3)画面で変更内容を確認後、右下に表示された[Accept]をタッチします。



- ⑧ 『Settings』のメニューに戻りますので、画面左にある  記号をタッチしメニュー画面を縮めます。画面左に表示される[Start]をタッチすることで、オンラインへ戻ります。



### 5.3. 本体ネットワーク設定の初期化

本機のインターフェース設定の初期化を行う方法は、下記の通りです。インターフェース設定以外は初期化されません。タッチパネル（オプション）をご使用の場合、インターフェース設定が変わると通信出来なくなります。タッチパネルのインターフェース設定を別途実施下さい。

※インターフェース設定内容が分からなくなってしまった場合、WEB機能を使用することが出来ません。インターフェース設定は、WEB機能でのみ変更が可能です。

- ① 『[DI1]計測開始トリガ』『[DI2]計測終了トリガ』『[DI3]サンプリング発振』『[DI4]パルス出力停止』『[DI5]固定周波数発振』の全てをONにします。（[DI1]～[DI5]全てを[-COM]と短絡）

## 6. 付録

## 6.1. 諸元

本体

型式	PSOU1	
入力電源	電圧	AC100～240V (許容範囲AC85～264V)
	周波数	50/60Hz
	電流	AC100V入力時：0.45A以下, 0.34A <sub>typ.</sub> AC200V入力時：0.25A以下, 0.22A <sub>typ.</sub>
	遮断容量	2A ※サーキットプロテクタによる
	突入電流	AC100V入力時：17.5A以下, 14A <sub>typ.</sub> AC200V入力時：35A, 28A <sub>typ.</sub>
入力パルス	入力信号形態	無接点スイッチ (オープンコレクタ)
	入力周波数	MAX 100kHz
	入力検出電圧	DC12V
	動作入力条件	オフ：4kΩ以上/6V以上 オン：1.3kΩ以下/4V以下
出力パルス	出力信号形態	オープンコレクタ
	出力周波数	MAX 100kHz
	出力定格	DC50V, 50mA
	飽和電圧	DC0.5V
	過電流保護	なし
デジタル入力	入力信号	シンク入力 (オープンコレクタまたは接点入力) ※接点入力時はチャタリングノイズ無き事。
	定格電圧	DC24V
	定格電流	4mA
	動作入力条件	オフ：DC15V以上/2.5mA以上 オン：DC5V以下/1mA以上
	フィルタ時間	0.2ms
通信	ポート数	1
	通信形態	イーサネット
	通信速度	10/100Mbps
	接続形態	RJ-45
タッチパネル 用電源出力	電源電圧	DC24V
	電流	MAX 0.7A まで使用可能
重量	5.0kg オプションタッチパネル, 取付金具装着時 6.4kg DINレール取付時 1.5kg	
寸法	430w×161.5h×230d 単位：mm 本体取付金具装着時：480w×161.5h×230d オプション (タッチパネル, タッチパネル取付金具) 装着時 ：430w×331h×230d DINレール取付時 ：550w×180h×105.2 (配線スペース含む)	

## 本体

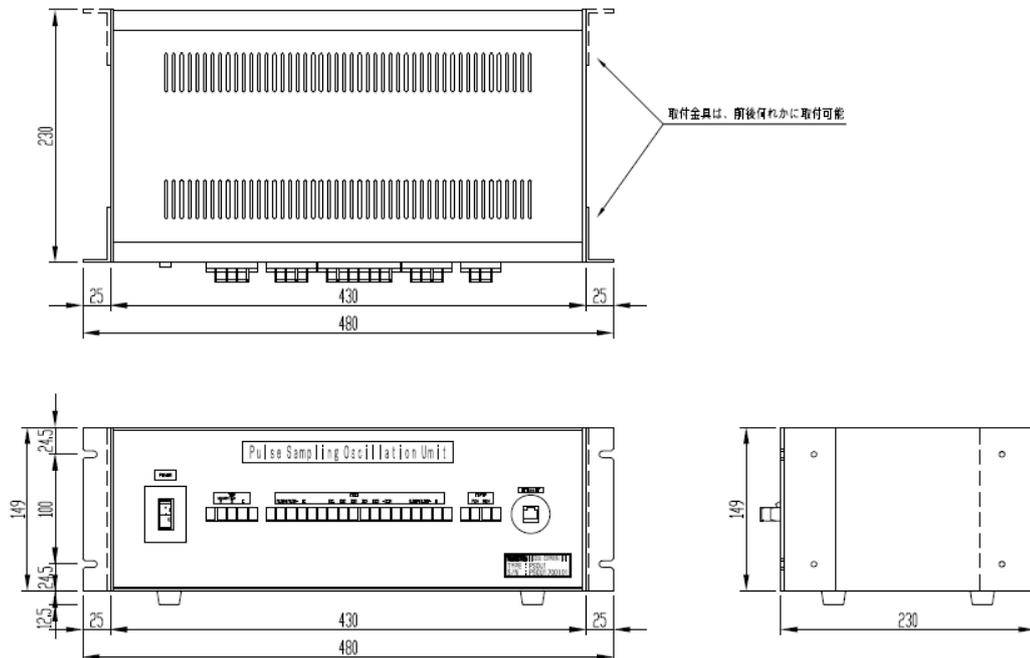
使用環境	温度	0～45℃
	湿度	30～90%RH 結露なき事
保存環境	温度	0～55℃
	湿度	30～90%RH 結露なき事
その他	換気	自然換気
	保護構造	なし

## タッチパネル（オプション）

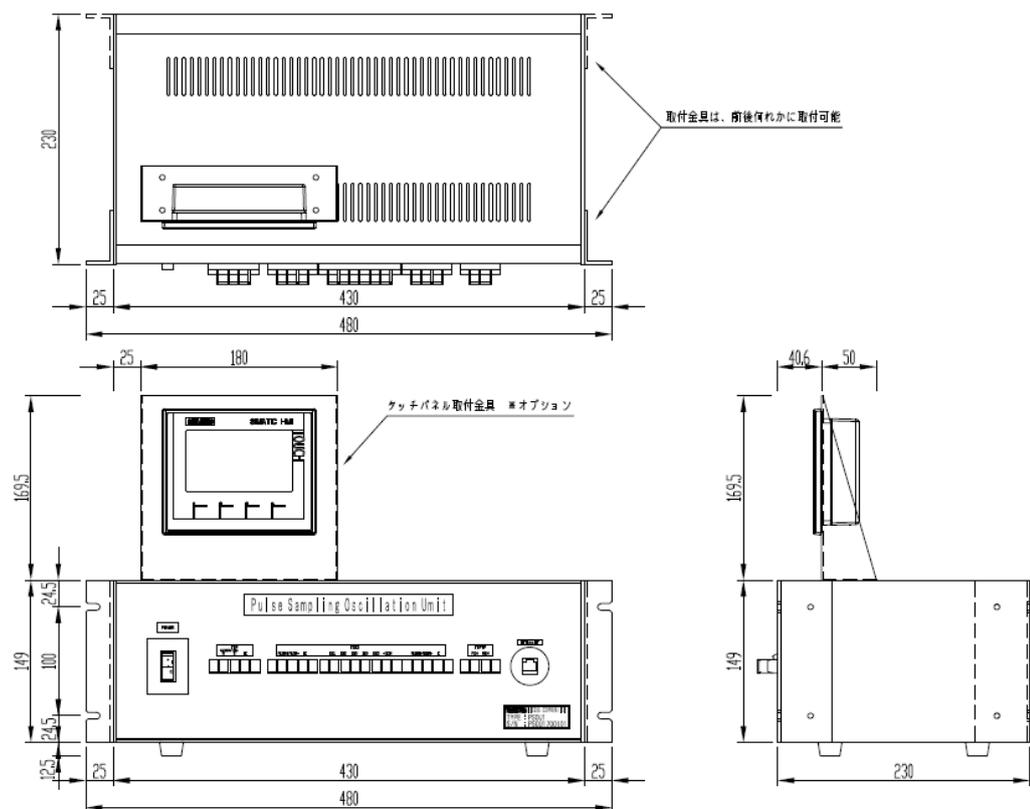
型式	6AV2123-2DB03-0AX0（シーメンス社製）	
電源	電圧	DC24V（許容範囲19.2～28.8V）
	消費電流	0.12A, 0.1mA <sub>typ</sub>
	保護	電子式
ディスプレイ	タイプ	TFT LCD
	表示サイズ	95w×53.8h 単位：mm（4.3インチ）
	解像度	480×272ピクセル
	表示可能色	256色
	コントラスト コントロール	なし
	輝度制御	あり
	バックライト	LEC ※半輝度寿命 50,000時間
入力デバイス	タイプ	タッチスクリーン，アナログ抵抗式
	ファンクシ ョンキー	4
重量	0.84kg	
寸法	140w×116h×46.2d 単位：mm	
使用環境	温度	-20～60℃
	湿度	10～90%RH 結露なき事
通信	通信形態	イーサネット
	通信速度	10/100Mbps
	接続形態	RJ-45

## 6.2. 外形図

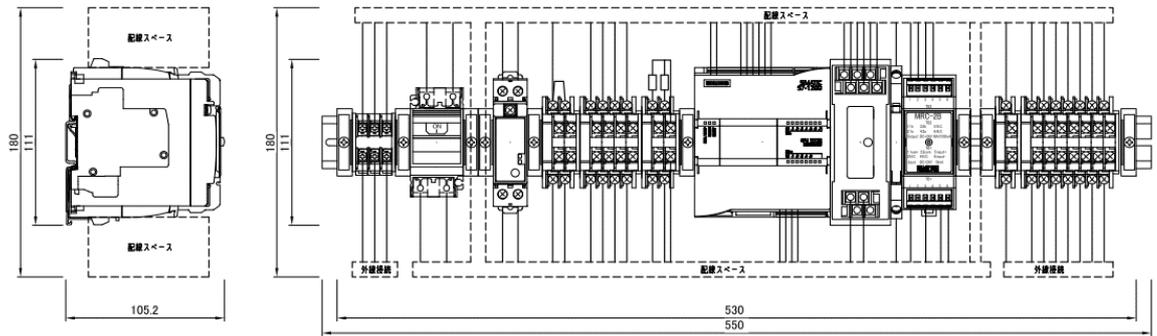
本体のみ



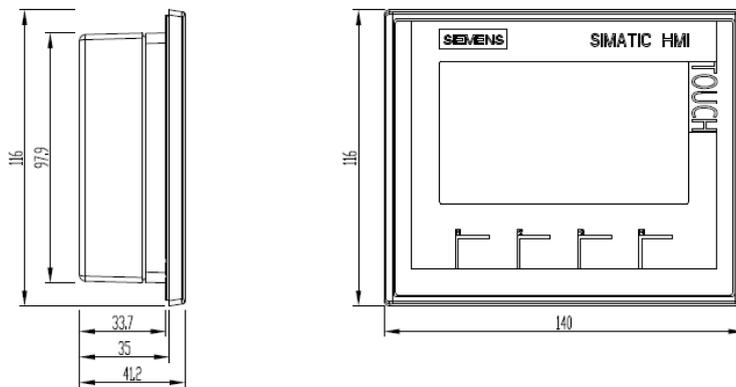
オプション (タッチパネル、タッチパネル取付金具) 装着時



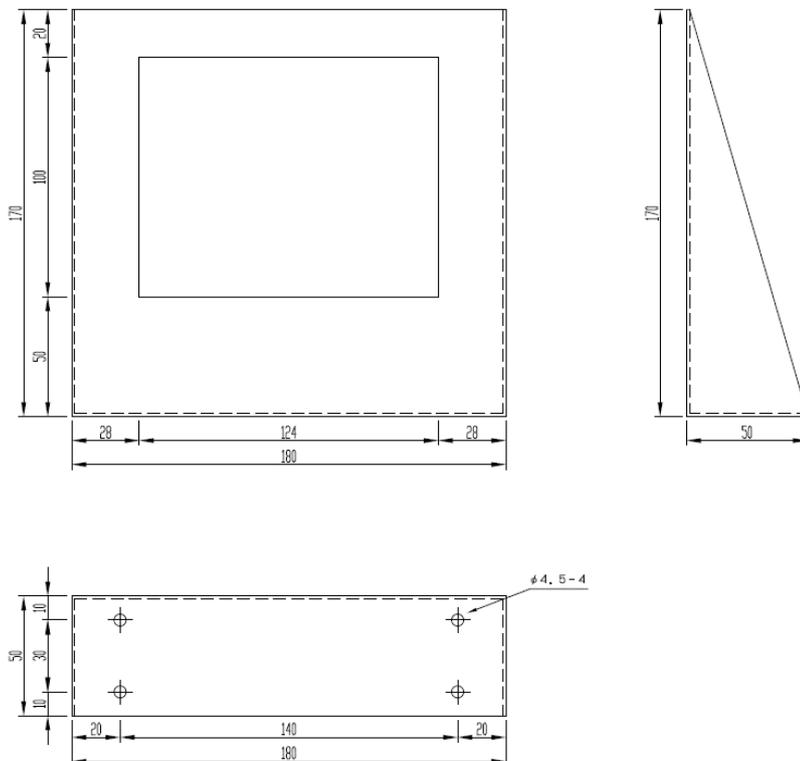
DINレール取付時



タッチパネル (オプション)



タッチパネル取付金具 (オプション)



## 6.3. 設定表

## ■ パラメータ設定

項目	設定範囲	出荷時	設定値
モード		サンプリング発振	<input type="checkbox"/> サンプリング発振 <input type="checkbox"/> 2点間計測 <input type="checkbox"/> 固定発振
<b>サンプリング発振モード用</b>			
発振条件		[DI3]サンプリング発振 立下り	<input type="checkbox"/> [DI3]サンプリング発振 立上り <input type="checkbox"/> [DI3]サンプリング発振 立下り
自動停止時間	0~9,999[s]	0[s]	[s]
<b>2点間計測モード用</b>			
2点間距離	1~9,999[mm]	500[mm]	[mm]
パルスレート	0.0000001 ~999.9999999[mm/pulse]	0.1[mm/pulse]	[mm/pulse]
自動停止距離	0~99,999[mm]	0[mm]	[mm]
<b>固定発振モード用</b>			
停止条件		無効	<input type="checkbox"/> 無効 <input type="checkbox"/> [DI5]固定周波数発振 立下り
発振周波数	1~100,000[Hz]	10,000[Hz]	[Hz]
<b>各モード共通</b>			
停止条件		[DI4]パルス出力停止 立上り	<input type="checkbox"/> [DI4]パルス出力停止 立上り <input type="checkbox"/> [DI4]パルス出力停止 立下り

## ■ インターフェース設定 (※WEB機能からのみ設定可)

項目	出荷時	設定値
IP アドレス	192.168.2.128	
サブネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	0.0.0.0	

## ■ タッチパネル設定 (※オプション)

項目	出荷時	設定値
DHCP	OFF	<input type="checkbox"/> ON <input type="checkbox"/> OFF
IP アドレス	192.168.2.129	
サブネットマスク	255.255.255.0	
ゲートウェイ	0.0.0.0	
接続先 IP アドレス	192.168.2.128	